

OB会、G・G大会（輪島市）にて石川の魅力を紹介

氏名：日向 邦夫 職業：六星会同窓会関東支部 都道府県：神奈川県

①OB会におけるPR

私の定年退職した会社にOB会（春秋会）組織があります。

春のOB会に今後懇親会で催し物等を行う企画・立案をする評議員制度が発足し、委員となりました。

席上紹介された挨拶の中、特使として出身石川県のPRをしました。

後、評議員から旅行の話が持ち上がり、再PRの結果石川県へ決定。

8名参加による、9月2日～4日（2泊3日）の行程で金沢へ。

来春の北陸新幹線開業に伴い、金沢駅及び周辺は生まれ変わったような気がします。

駅前のホテルを起点として、1日目金沢市内、2日目能登、3日目白山・加賀を観光し、小松空港から帰りました。

参加者の印象として、観光地が多くある事と、近江町市場付近の寿司屋で新鮮な地魚を食べ、地酒を呑み満足いっぱいでした。

今後はOB会会員にもPRしていきたいと思います。

私は石川県出身者として、地元を自慢しながら、同僚に楽しい一時をすごしてもらい、満足感を味わっていただきよかったと思っています。



②横浜鶴見区×輪島市交流親睦グラウンド・ゴルフ大会

6月10日・11日（1泊2日）

曹洞宗大本山總持寺の縁があり、横浜市鶴見区と輪島市は友好交流提携を結び、相互発展の第一歩としてG・G大会の運びとなりました。

2月に区役所担当者から鶴見区老人クラブ連合会へ、交流事業に関するアンケートにご協力との依頼があり、私は区老連の副会長（スポーツ部会長）をしており、観光特使の名刺を渡しPRしました。

横浜市老連のG・G大会において、G・G協会の知人や区老連の仲間達に名刺を配布して、石川県のPRに努めました。

第一回目は輪島市での開催で、横浜市からの参加者41名（私の声かけ者は20名参加）でした。

参加した知人は、口をそろえて「おもてなし」がすごい的一声でした。旬の地魚や地酒などの食事と御陣乗太鼓など伝統芸能と市内観光を楽しみ、感動ばかりであったとの事です。

私は参加できず残念でしたが、観光特使として石川県の観光地の魅力を紹介する良い機会となりました。

【この大会についての新聞記事】
画像をクリックすると大きく表示されます。



区民ら輪島市と交流

グラウンドゴルフに160人

友好交流都市である鶴見

区と輪島市の交流事業「親睦グラウンドゴルフ大会」が6月11日、輪島市で開催され、横浜市から41人、輪島市から114人が参加した。事業は二泊二日で行われ、区内からの参加者は輪島市の市内観光や伝統文化などを楽しみ、同市民らと



芝生の会場でラウンドする参加者

交流した。

これまで互いのイベントにブリスを出すなど交流してきたが、住民同士によるスポーツを通じたものは初めて。区民から「グラウンドゴルフの場所がない」といった声を聞いていた区が、交流する中で輪島市に相談。同市に専用グラウンドがあったことなどから、事業が実現した。

会場は、日本グラウンドゴルフ協会公認の4コース、全32ホール。鶴見区がひざ痛予防のために開発した「ひざひざワツくん体操」で体をほぐし、大会はスタートした。

両都市の混成グループ5

6人でラウンド。広大な天然芝のコースに、参加者からは「こんな素晴らしいコースでできるなんて」という声も聞かれた。ラウンド後は、輪島市名物「門前そば」の振る舞いや、石川県指定無形民俗文化財「御陣乗太鼓」の披露もあった。

H 26
6
26

こんにちは 第23回 区長です。

このコーナーでは区長が
公務の中で感じたことな
どを自由に綴ってもらい
ます。(月1回掲載予定)

鶴見区は福島県西会津 業遺産のシンボル「白米千町、棚倉町、石川県輪島市 枚田（しろよねせんまい）と友好交流協定を結び、これまで、さまざまな交流事業に取り組んできました。

今回は、その中から輪島市をご紹介します。魅力にあふれています。

輪島市は、日本海に突き出た能登半島の先端にあって、人口は約3万人、面積は、横浜市とほぼ同等です。自然あふれる甲山里海に培われた伝統と文化が香り、「総持寺祖院」に代表される禅文化、1200年の歴史ある「輪島朝市」、日本で初めて認定された世界農業遺産「輪島朝市」も輪島市を訪ねてみてはいかがでしょうか。

輪島市との交流協定は、総持寺を縁として結ばれ、先日は「鶴見区・輪島市親睦グラウンドゴルフ大会」を輪島市で開催。伝統文化の「御陣乗太鼓」や「門前」ところなども拝見し、本

当に感動しました。皆さま



● 鶴見区長

征矢 雅和さん